

Amigo

柴原成一後援会だより

(Amigoはスペイン語で仲間、友人の意味。阿見町Go!の意味を重ねた)

第4号 2007年6月1日

「町政はサービス業だ！」議会質問の足跡をたどる

柴原成一は5月で55歳になりました。一世代前なら「定年」の年齢なのですね。団塊の世代の皆さんが現役バリバリでがんばっておられるなか、まだまだ発展途上と農作業にも議員活動にも拍車をかける毎日です。「町政はサービス業だ！」とアピールして当選させていただいた初心は今も健在です。

この初心に基づいて3年間、議会では毎回欠かさず質問を心がけ、これまでに以下のような問題意識を持って執行部に見解を質してきました。



◎町の行財政改革について

- ①財政建て直しに向けた新たな財源確保の方向づけ
- ②行政改革で『入り』をどう増やすのか？
- ③阿見町に職員は本当に不足しているのか？
(行政サービス向上に外部評価の導入を)
- ④「指定管理者制度」の進捗状況及び町の推進姿勢
- ⑤地方交付金組み換えにおける霞ヶ浦湖面の町域編入の考え方

◎町づくりについて

- ①土地区画整理事業の今後について
- ②市街化調整区域への『区域指定』導入の考えの有無
- ③今後の都市計画の方向

◎産業振興について

- ①産業拡大に取り組む基本姿勢
- ②農業公社の立ち上げによる都市農村交流の拡大方策
- ③産業の振興と誘致に営業感覚を
- ④キャノン阿見事業所の今後の事業展開

◎文教政策について

- ①保育所の公設民営について
(待機児童ゼロをめざす)
- ②天然芝による小中学校等の校庭緑化の推進方策
- ③図書館でのビデオテープ貸し出しの無料化

町の財政状況が厳しいなか、一貫して産業や雇用、収入の拡大方策を模索し、行政はサービス業であるとの基本に立って、積極的な取り組みを求めてきたものです。柴原成一は、議会で総務常任委員会に所属し、また行政改革特別委員会委員を務めています。